

GUI



各コンポーネントをダブルクリックすると、ナンバーボックスが現れます。数値を直接入力することで、パラメータ値の微調整ができます。

パラメータ

[]内は、オートメーションやマッピングに使用される、実際のパラメータ名。

density

- [trigger/density]
- グ레인を生成するトリガーの周波数

prob

- [trigger/probability]
- トリガーが発せられる確率

feedback

- [feedback/amount]
- フィードバック量 (単位: dB)

damp

- [feedback/damp]
- フィードバックにかけるローパスフィルタ

pos

- [cloud/position]
- グ레인を生成するバッファの位置 (単位: msec)

posBlur

- [cloud/position_blur]
- グ레인生成位置の偏差

size

- [cloud/grain_size]
- グ레인の大きさ (単位: msec)

sizeBlur

- [cloud/grain_size_blur]
- グ레인の大きさの偏差

ampBlur

- [cloud/amp_blur]
- グ레인の振幅の偏差

pitchBlur

- [cloud/pitch_blur]
- グ레인のピッチの偏差

stereo

- [cloud/stereo_spread]
- ステレオスプレッド

reverse

- [cloud/reverse_prob]
- グ레인が逆再生される確率

tilt

- [cloud/window_tilt]
- グ레인の形状

skirt

- [cloud/window_skirt]
- グ레인の形状

freeze

- [record/freeze]
- フリーズ機能

drywet

- [drywet]
- ドライウェット

使い方

luluはオーディオエフェクトプラグインです。ただしMIDI入力が必要です。中央ドがグレインのピッチの基準であり、ピッチシフトが起こりません。

例. Apple Logicの場合

MIDIトラックを作成し、MIDIリージョンに適当なノートを書きます。作成したトラックのインストゥルメントとして、「AU MIDI制御エフェクト」からluluを選びます。「サイドチェーン」に、エフェクトをかけたいトラックを選びます。



例. Cycling '74 Maxの場合

次のようなパッチを作ってください。

